



E:Education  
for  
S:Sustainable  
D:Development  
O:omagari  
m:minami

H.27.9.17 No.5

## 大曲南中学校 3年生 国際教養大を訪問

### 南中や地域の紹介と環境の情報交換を英語で

9月11日に3年生が総合的な学習とキャリア教育の一環として国際教養大学を訪問しました。今回の訪問の目的は、南中の紹介と地域の行事の紹介、そして留学生の方へ母国での環境への取り組みについて質問することです。

夏休み前から、紹介する内容を考えたりポスターを作成したりしながら学習を進めてきました。当日留学生の方とアイコンタクトをとりながら英語で会話するというので、不安と緊張感をもちながら活動した生徒が多かったようです。しかし、実際に交流が始まると不安や緊張もとれ、みんなジェスチャーを交え笑顔で自分の思いを伝えようとしていました。また、各国の環境保護の様子について生の声を聞くことができたのも大きな収穫でした。

どこの国の人もそれぞれのリサイクル活動に取り組んでいるのだとわかった。緑のカーテンについて説明した時の留学生の方の反応を見て、珍しいのかなと思った。緑のカーテンは来年も続けていきたい。

英語が苦手でもアイコンタクトと笑顔で話すことで理解してもらえた。話すときには相手の気持ちを考えて話すことが大事だと思った。自分から積極的にコミュニケーションをとっていきたい。

これまで図書室の本やインターネットを用いて外国の環境について調べていたが、外国に暮らす人の生の声を聞いて貴重な体験ができた。いつも使っている日本語でなく、英語での交流だったが、言葉だけでなく表情やジェスチャーでも伝わるのが分かった。

自分がこれまで知らなかった文化をそれぞれの国の人から直接聞いて、もっと異文化について知りたいと思った。また、環境問題への取り組みがどの国もほとんど同じであることに驚いた。しかし、どのくらい取り組んでいるかという点では差があると思った。世界中で、もっと環境保護への取り組みを盛んにする方法はないのだろうかと思った。

正直、自分の英語が相手に伝わるのか心配だった。でも、いざとなるとその心配も忘れて、「楽しい！」という気持ちがほとんどだった。英語が完璧でなくても、単語を並べるだけでも伝わるんだなと思った。

また、色々な国の留学生と交流し、他国の異文化をしっかりと受け入れることが大切だとわかった。とても貴重な勉強になった。



フリップを使ってスクールライフの紹介↑



南中のリサイクル活動の紹介↑



留学生と伝統行事「盆踊り」を踊る↑

教養大訪問の様子は南中祭でも紹介する予定です！